

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第二課

1. 基本情報

- (1) 国名：リベリア共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：モンセラード州モンロビア市（人口約 150 万人）
- (3) 案件名：ジャパン・フリーウェイ延伸計画（The Project for the Extension of Japan Freeway）

G/A 締結日：2025 年 3 月 12 日

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における運輸・道路セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

リベリア共和国（以下「リベリア」という。）では、長年の内戦の結果、首都圏の主要幹線道路の損壊・老朽化が深刻であり、未だ十分に経済インフラが整備されていない。同国の道路舗装率は約 6.4%（2019 年、公共事業省）に留まっている。加えて、首都モンロビアは年率約 3.4%で人口増加（2024 年、世界銀行）しており、北部・東部の住宅街が広がりを見せているものの、官庁やオフィス街、商業施設や病院・大学等の公共施設は、メシュラド湿地を挟んだ南部に集中しているため、3 か所しかない南北縦断道路に交通が集中している。恒常化する交通渋滞や劣悪な道路整備状況は国内輸送費の増大並びに貿易競争力の阻害要因となっているほか、病院等公共サービスへのアクセスの観点からも課題となっており、道路整備は喫緊の課題となっている。JICA は開発調査「モンロビア都市施設復旧・復興整備マスタープラン策定調査」（2009 年）を実施し、メシュラド湿地を環状する都市 1 級道路を優先的に整備する必要性の高い道路として提言した。かかる状況を踏まえ、リベリア政府は「国家開発 5 か年計画(2018-2023)」では 260km の都市道路整備を優先課題とし、各ドナー等との連携により整備に取り組んでいる。

我が国は、無償資金協力「モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画」（フェーズ 1：2013 年-、フェーズ 2：2016 年-）を実施し、ジャパン・フリーウェイ（ソマリアドライブ）の拡幅や既存舗装の改修など、郊外から市内中心部付近まで整備している。同道路の周辺地域では、都市・住宅開発が著しく進行し、交通量が増加傾向にある。「モンロビア首都圏ジャパン・フリーウェイ延伸整備計画」（以下「本事業」という。）は、ジャパン・フリーウェイの西端の交差点、国際港のフリーポートが隣接しているエリアからガブリエル・タッカー橋までの最も渋滞している区間（2.0km）を改修すると共に、フリーポート交差点から北に約 150m の未舗装区間の歩道新設と車道舗装を改修することで、ジャパン・

フリーウェイ及びフリーポートとモンロビア中心部の間の人流・物流の改善を図り、もって市内中心部から本事業対象区間及びフリーポート、ジャパン・フリーウェイ及び世界銀行により整備が進んでいる道路を経由し、リベリア第 2 及び第 3 の都市であるバルンガやカカタ、さらにはギニア国境までの広域な人流・物流の円滑化に資するものである。なお、対象区間が海岸部に近い低地にあること、また、年間平均降雨量約 5,200mm（1991-2020 年の平均）の降雨が約 6 カ月間の雨期に集中することから、当該時期は道路の冠水が頻繁に発生し、交通渋滞の悪化と路面の更なる劣化を引き起こしている。本事業では、道路の長寿命化を目的に、道路の嵩上及び排水施設を付帯した道路改修を想定している。

（２）運輸・道路セクターに対する我が国及び JICA の協力量針等と本事業の位置付け

対リベリア共和国国別開発協力量針（2019 年 4 月）における重点分野として「インフラ整備支援」が定められており、本事業は同方針に合致する。また、運輸・交通セクターでは開発調査「リベリア国モンロビア都市施設復旧・復興整備マスタープラン策定調査（2009）」を踏まえ、無償資金協力「モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画」及び「モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画（フェーズ 2）」が実施されており、両協力は質の高い道路整備だけでなく工事を通じた人材育成にも貢献しているとしてリベリア政府の高い評価を得ている。JICA グローバルアジェンダ（課題別事業戦略）では、道路アセットマネジメントクラスターや道路交通安全クラスターにおいて、国内外に広がる運輸インフラの整備や持続可能な維持管理、安全の確保に取り組むこととしており、本事業は同戦略と合致する。

（３）他の援助機関の対応

モンロビア市郊外の東部地域から北に向かうカカタ・ハイウェイや南東に向かうリア・ハイウェイについては世界銀行等が改修中。対象区間を分担して、モンロビア市内の物流・交通の改善、国内輸送費の軽減を図っている。

3. 事業概要

（１）事業概要

① 事業の目的

本事業はジャパン・フリーウェイ西端とガブリエル・タッカー橋北端までの区間において、既存 4 車線（片側 2 車線）を改修することにより、対象区間の円滑かつ安全な道路交通の確保を図り、もってモンロビア首都圏及びリベリア国内の人流・物流の活性化に寄与するもの。

② 事業内容

ア）施設、機材等の内容：既存 4 車線（片側 2 車線）の嵩上（冠水改善

策)・既設舗装の撤去及び舗装工事(ジャパン・フリーウェイ西端の交差点より北側 150m 地点～ガブリエル・タッカー橋区間: 2.15km)、排水施設を含む道路付帯施設一式(パイプカルバート暗渠、集水柵)

イ) コンサルティングサービス/ソフトコンポーネントの内容: 詳細設計、入札補助、施工監理、ソフトコンポーネントによる技術指導(本事業区間の維持管理方法、関連排水施設の清掃)

ウ) 調達・施工方法: 一般的な労務・建設資材は現地調達、信号機・道路照明・安全設備・アスファルトフィニッシャーは日本からの調達、一部仮設資材は第三国調達。

③ 本事業の受益者(ターゲットグループ)

直接受益者(本道路を利用する人口 23 万人)

最終受益者(本道路を通過してサービス・物資を受け取る人口 120 万人)

(2) 総事業費

総事業費 2,811 百万円(概算協力額(日本側): 2,768 百万円、(リベリア共和国側): 43 百万円)

(3) 事業実施スケジュール(協力期間)

2024 年 3 月～2028 年 6 月を予定(計 52 か月)。道路の供用開始時(2027 年 6 月を予定)をもって事業完成とする。

(4) 事業実施体制

1) 事業実施機関: 公共事業省(Ministry of Public Works, 以下「MPW」という。)

2) 運営・維持管理機関: MPW

(5) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動: 特になし。

2) 他援助機関等の援助活動:

世界銀行プロジェクト(LIBERIA URBAN RESILIENCE PROJECT)にてモンロビア市内の緊急清掃と Feasibility Study が開始されており、当プロジェクトも対象エリアに含まれるため、道路排水施設の清掃に関して連携を検討する。また、モンロビア市役所(MCC)の清掃当局がゴミ収集業務を行っており、右収集サービスの対象範囲の拡大、内容の向上が図られている。道路排水施設や流末に溜まるゴミの発生源と考えられる市内一般ゴミの収集強化に関して連携を検討する。

(6) 環境社会配慮

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類: B

② カテゴリ分類の根拠: 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイド

ライン」(2010 年 4 月公布)に掲げる道路セクターのうち大規模なものには該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性に該当しないため。

③ 環境許認可:本事業にかかる環境社会影響評価(ESIA)報告書は、2023 年 9 月に環境保護庁(EPA)により承認済み。

④ 汚染対策:工事中は、大気質、土壌、水質、騒音・振動、廃棄物等への影響が想定されるが、定期的な散水、重機・工事用車両の定期点検(オイル漏れ防止)、施工ヤード内での濁水処理、廃棄物の適切な分別・廃棄等の対策を行い、影響は最小化される見込みである。

⑤ 自然環境面:本事業の周辺はラムサール条約の登録湿地であるメシュラド湿地が位置し、事業地の一部はメシュラド湿地に含まれる。しかし、本事業は市街地に位置し、既設道路の改修工事であることから、当該湿地への影響は想定されない。

⑥ 社会環境面:事業対象地は全て公共事業省の土地の範囲内のため、用地取得・住民移転は発生しない。一方で道路上の部分的な影響を受ける構造物が生じるが、住民移転はなく当国国内手続き及び JICA 環境社会配慮ガイドラインに沿って補償が実施される。

⑦ その他・モニタリング:工事中は、公共事業省の監督のもと、施工業者が大気質、土壌、騒音、水質、廃棄物、生態系、労働環境、事故等についてのモニタリングを行う。供用時は公共事業省が大気質、水質、騒音・振動のモニタリングを行う。

(7) 横断的事項:特になし。

(8) ジェンダー分類:【ジェンダー案件】■GI(S)(ジェンダー活動統合案件)
＜活動内容/分類理由＞

リベリアのジェンダー政策に沿って、ジェンダーに基づく暴力への対応として、先方政府の負担事項として、建設現場におけるジェンダーに基づく暴力(GBV: Gender-Based Violence)に対する教育訓練、啓蒙活動及び GBV 計画書の作成を行う予定であるため。また、公共事業省とその請負業者は、女性の積極的な参加と相談への参加を確保し、女性の経済活動を支援することにより、女性の人権の促進・実現を目指している。

(9) その他特記事項:特になし。

4. 事業効果

(1) 定量的効果

指標名	基準値 (2022 年実績)	目標値 (2030 年) 【事業完成 3 年後】
対象区間の平均走行速度 (km/h)	17.4	40.5
対象区間の交通量 (台/日)	72,651	108,966
道路冠水日数 (日/年)	66	9

(2) 定性的効果

- ・排水施設整備により衛生環境が改善し、道路冠水継続時間が減少する。
- ・3m の幅広歩道の整備により、歩行者の車道利用を避けることが可能となり、歩行者の安全性が向上する。また、信号機及び横断歩道の設置により、歩行者の乱横断を避けることが可能となり、歩行者及び車両の安全性が向上する。
- ・MPW による道路維持管理体制の確立。

5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件：特になし。

(2) 外部条件：特になし。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

リベリア国「モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画（第一次、第二次）」では、雨水排水において、対象道路の標高が海水位と差が無く、排水勾配の確保が課題であり、雨期には整備した側溝内に水が溜まっている状態となった。雨期前には、実施機関が道路側溝のゴミを清掃するが、周辺住民がペットボトル等のゴミを投棄するので、更に排水機能が損なわれる状態となった。

対象道路の標高と海水位が同じ本事業では、設計上は降雨と潮位の計算から貯留水は側溝内に長期間滞水せず排水される結果となっているが、ソフトコンポーネントにて上述のゴミ問題対策に関して世銀プロジェクトや MCC とも協力して排水施設のゴミ処理を含む維持管理計画や住民への不法投棄防止の啓発活動計画作成などを行う。

7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力量針・分析に合致し、主要道路の改修を通じて都市圏の円滑かつ安全な道路交通の確保を図り、もってリベリア国の人流・物流の活性化に寄与するものであり SDGs ゴール 9（産業と技術革新の基盤）に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

8. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる指標
4. のとおり。
- (2) 今後の評価スケジュール
事業完成3年後 事後評価

以 上

別添資料 ジャパン・フリーウェイ延伸計画地図

The map displays the following details:

- Legend:**
 - International boundary (solid line)
 - County boundary (dashed line)
 - National capital (star in a circle)
 - County capital (circle with a dot)
 - Town, village (open circle)
 - Road (solid line with cross-ticks)
 - Railroad (line with cross-ticks)
 - Airport (star)
- Scale:** 0 to 80 km / 0 to 50 mi.
- Geographical Features:** Atlantic Ocean, various rivers (St. Paul, St. John, St. Peter, etc.), and numerous towns and cities.
- Inset Map:** A small globe showing the location of Liberia in West Africa.
- Neighboring Countries:** Sierra Leone, Guinea, and Côte d'Ivoire.
- Counties and Towns:**
 - Bong: Ziguinchor
 - Grand Bassa: Gbarnga
 - Grand Gedeh: Dubu
 - Grand Kru: Barclayville
 - Grand Lofa: Yola
 - Grand Montserrado: Monrovia
 - Grand Nimba: Nimba
 - Grand Pong: Pong
 - Grand Sino: Sino
 - Grand Togo: Togo
 - Grand Wop: Wop
 - Grand Yoho: Yoho
 - Grand Zeh: Zeh

フリーポート

モンロビア

メシラド湿地

ジャパン・フリーウェイ (ソマリアドライブ)

カカタ・ハイウェイ (世界銀行のプロジェクト対象地域)

モンロビア市内中心部

Google

地図データ ©2021 日本 利用規約 プライバシー フィードバック



(出典：Google Maps (地図データ©2023 Google) より JICA 作成)